

ご使用になる前に必ずお読みください

同梱のベースフレーム取付説明書、レカロシート取扱説明書（シートご購入時付属品）を一緒にご覧ください。
販売店さまへ 本書は必ずお客様にお渡しください。

レカロシート取付説明書

NI2069-2411001

メーカー	車種	年式	型式	部品番号
NISSAN	GT-R	2007/10 ～	R35	2081.023.2

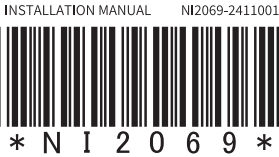
品質向上などのため、予告なしに一部の仕様を変更する場合があります。

レカロ株式会社

〒527-0066 滋賀県東近江市柴原南町 1570-1

レカロコール ☎ 0800-919-5881 受付時間 10:00 - 12:00 13:00 - 18:00

営業日 土日、祝日、弊社休業日を除く平日 ※IP 電話以外よりお掛けください。



構成部品

ベースフレーム構成部品			数量	備考
①	ベースフレーム本体		2	ドア側 x 1、コンソール側 x 1
②	スライドレバー		1	ベースフレーム本体に取り付け
③	キャップボルト	M8 x 20mm	4	オフセットブラケットとベースフレーム本体の取り付けに使用
④	キャップボルト	M8 x 28mm	4	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用 ※使用するボルトは、取り付けシートや使用スペーサー枚数によって異なります。
⑤	キャップボルト	M8 x 40mm	4	
⑥	キャップボルト	M6 x 30mm	6	
⑦	ロックワッシャー	M8	4	シート本体、オフセットブラケットとベースフレーム本体の取り付けに使用
⑧	スプリングワッシャー	M6	6	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用
⑨	平ワッシャー	外径32mm	3	ベースフレーム本体の車内フロア固定時に使用
⑩	スペーサー	6mm	6	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用
⑪	スペーサー	7mm	8	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用
⑫	スペーサー	10mm	4	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用
⑬	ボタンキャップボルト	M8 x 30mm	2	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用
⑭	低頭六角ボルト	M10 x 20mm	1	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用
⑮	オフセットブラケット		1	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用

シートベルトバックルアンカー取り付け用部品		数量	備考
㊴	UNFボルト	1	シートベルトバックルの取り付けに使用
㊵	UNFナット	1	
㊶	平ワッシャー	外径24mm	
㊷	歯付ワッシャー	1	
㊸	カラー	外径17mm	
㊹	ウェーブワッシャー	1	

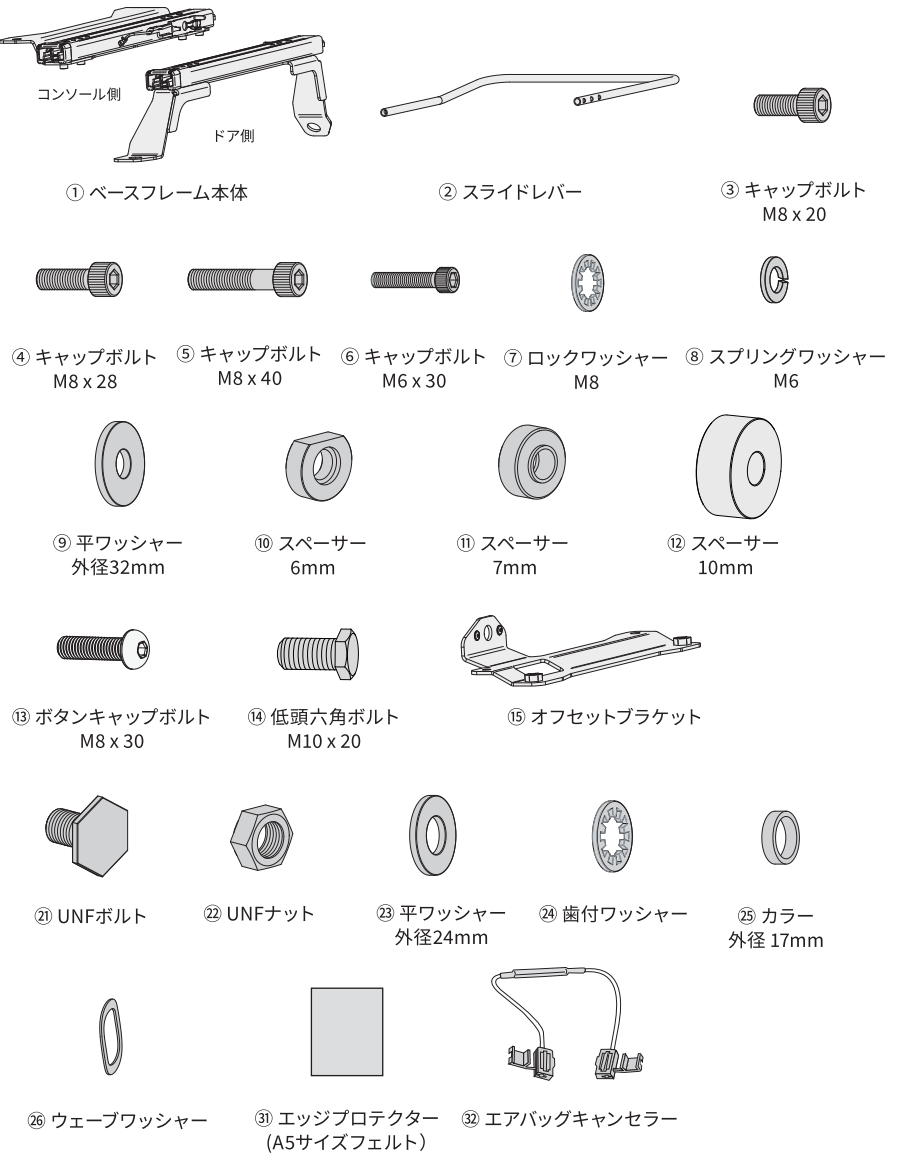
その他の構成部品		数量	備考	
㉑	エッジプロテクター	210 x 150	1	ベースフレームエッジ部分の保護に使用
㉒	エアバッグキャンセラー		1	エアバッグ消灯作業に使用(赤色カブラー×2含む)

作業前に準備しておくこと

必要工具などについて

- ◎基礎工具類 …… スパナ、レンチ、六角レンチ、プライヤー、ペンチなど
- ◎本製品に必要となる特殊工具 …… スパナ：24mm
- ◎配線処理部材 …… 結束バンド、絶縁テープなど
- ◎保護具 …… 作業時は、長袖や手袋などの保護具を着用してください
- ◎保護カバー …… シート脱着時に車両を傷つけないよう、毛布などでカバーしてください

構成部品



作業手順

1

バッテリーのマイナス端子を外して放電させる

※すべての電気経路がリセットされますので、再設定が必要です。

※BMWやAUDIなど、一部の輸入車においてバッテリーの端子を外すことを推奨しない車両もございます。同梱の車種別取付説明書をご確認ください。

⚠ 禁止

濡れた手で作業しないでください。

感電の恐れがあります。

2

純正シートを固定しているボルトや配線を取り外す

⚠ 厳守

作業にあった工具をご使用ください。

間違った工具や粗悪な工具を使用すると正しく組みつけができず、部品の破損や思わぬけがの原因となります。

作業時は、長袖や手袋などの保護具をご使用ください。

素肌が露出した状態で作業すると、金属部分のエッジなどと接触し、けがをする恐れがあります。

3

純正シートを車外に取り出す

⚠ 厳守

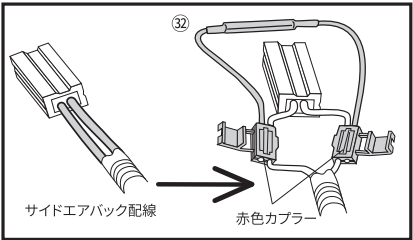
作業時は車両を傷つけないよう保護カバーをご使用ください。

レカロシートの取り付けが完了するまで保護カバーをつけたままにしておいてください。

4

サイドエアバッグ警告灯の消灯作業

車両フロア側サイドエアバッグの配線と付属のエアバッグキャンセラー③を赤色カプラーにそれぞれ挟み込むようにして短絡させ、フロア側からの信号が付属のエアバックキャンセラー③を通るようにします。



サイドエアバック配線

赤色カプラー

⚠ 注意

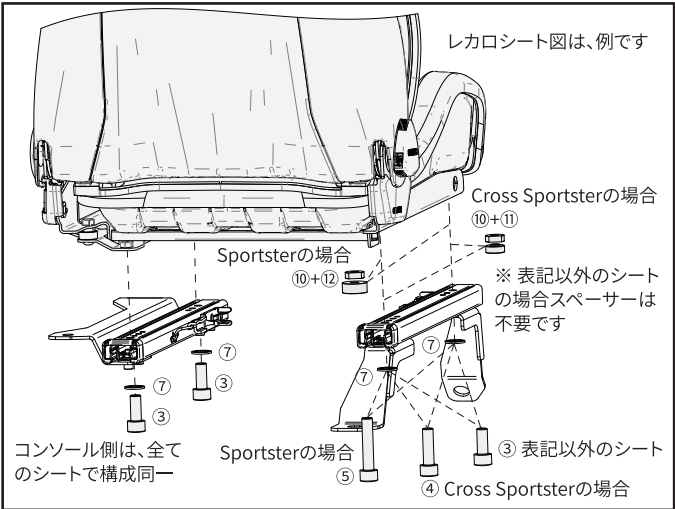
誤ってエアバッグ警告灯が点灯した場合には、自動車ディーラーでの消灯作業が必要となります。

7-2

ベースフレーム本体をシートに固定し、スライドレバーを取り付ける

ベースフレーム本体①を付属部品を使用してシートに（コンソール側はオフセットブラケット⑮を介して）取り付けます。

締め付けトルク：M8 24±2Nm



レカロシート図は、例です

Cross Sportsterの場合 ⑩+⑪

Sportsterの場合 ⑩+⑫

※表記以外のシートの場合スペーサーは不要です

※装着シートにより、ドア側の使用ボルト、使用スペーサーが異なります。左図を参照ください。

Cross Sportster 付属のリーンフォースブラケットは使用しません。

コンソール側は、全てのシートで構成同一

Sportsterの場合 ⑤

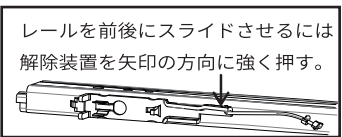
③ 表記以外のシート

④ Cross Sportsterの場合

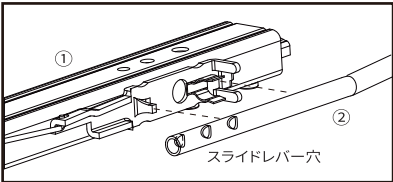
⚠ 厳守

記載の締め付けトルクで締め付けてください。

適正なトルクで締め付けができていないと、ボルトの破断や緩みが発生し、重大な事故の原因となります。



レールを前後にスライドさせるには解除装置を矢印の方向に強く押す。



①

②

スライドレバー穴

※スライドレバーのレカロロゴが上面に向くように取り付けてください。固くてはまりにくい場合はプラスチックハンマーなどを使用してください。

8

シートを車内に入れ、シートベルトバックルの配線をつなぐ

※レールに配線が噛みこまないよう、結束バンドなどで束ね、固定してください。

⚠ 注意

配線がむき出しのエッジ部で損傷し火災や事故の原因となります。

付属のエッジプロテクターで保護してください。

5

純正シートからシートベルトバックルを取り外す

シートベルトバックルにつながっている配線も取り外します。

⚠ 厳守

作業にあった正しい工具をご使用ください。

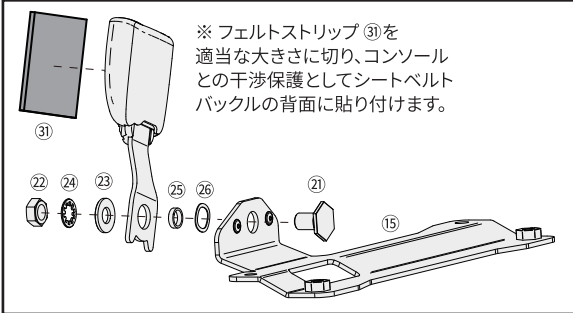
間違った工具や粗悪な工具を使用すると正しく組みつけができず、部品の破損や思わぬけがの原因となります。

6

シートベルトバックルをオフセットブラケットに取り付ける

取り外したシートベルトバックルを、付属部品を使用してオフセットブラケット⑮に取り付けます。

締め付けトルク：UNF 7/16 44±4Nm



※フェルトストリップ③を適当な大きさに切り、コンソールとの干渉保護としてシートベルトバックルの背面に貼り付けます。

⚠ 厳守

記載の締め付けトルクで締め付けてください。

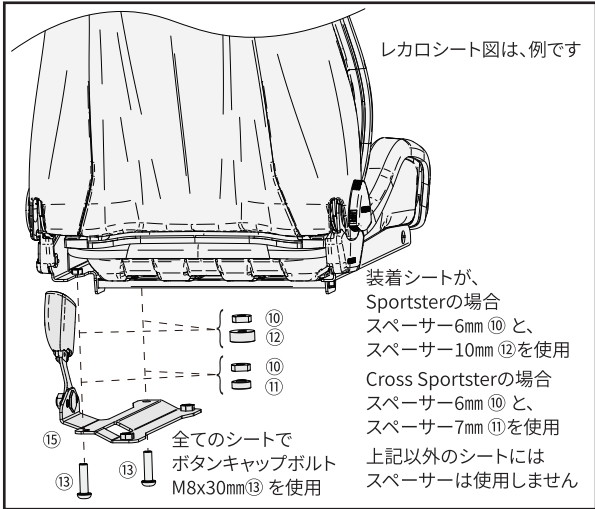
適正なトルクで締め付けができていないと、ボルトの破断や緩みが発生し、重大な事故の原因となります。

7-1

オフセットブラケットをシートに固定する

オフセットブラケット⑮を付属部品を使用してシートのコンソール側に取り付けます。

締め付けトルク：M8 24±2Nm



レカロシート図は、例です

装着シートが、Sportsterの場合
スペーサー6mm⑩と、
スペーサー10mm⑫を使用

Cross Sportsterの場合
スペーサー6mm⑩と、
スペーサー7mm⑪を使用

上記以外のシートには
スペーサーは使用しません

全てのシートで
ボタキャップボルト
M8x30mm⑬を使用

⚠ 厳守

※スペーサーの使用枚数が、装着シートにより異なりますので左図を参照ください。

Cross Sportster 付属のリーンフォースブラケットは使用しません。

⚠ 厳守

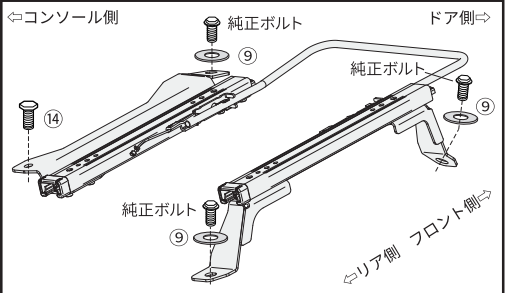
記載の締め付けトルクで締め付けてください。

適正なトルクで締め付けができていないと、ボルトの破断や緩みが発生し、重大な事故の原因となります。

9

シートをフロアに固定する

フロアに純正ボルトと付属の六角ボルト⑭で固定してください。



⇨コンソール側

⇨ドア側⇨

⇨リア側

⇨フロント側⇨

純正ボルト

⑨

⑭

締め付けトルク：
M10 44±4Nm

純正ボルト：車両の整備書を参照し、適正な締め付けトルク値を確認し締め付けてください。

※フロアカーペットを挟み込む場合は該当箇所のカーペットをはさみで切ってください。

⚠ 厳守

レールを前後端までスライドさせ、手順8でつないだ各種配線につっぱりや緩み、噛みこみがないことを確認してください。

正しく取り付けできていないと、ハーネスが断線し火災や思わぬ事故の原因となります。再調整の際も同様に確認をしてください。

記載の締め付けトルクで締め付けてください。

適正なトルクで締め付けができていないと、ボルトの破断や緩みが発生し、重大な事故の原因となります。

10

エッジプロテクターを貼る

ベースフレームのエッジ部、フロア固定ボルトとカーペットの隙間を隠すように貼り付けてください。

⚠ 注意

むき出しのエッジ部にぶつかると思わぬ怪我につながる恐れがあります。

付属のエッジプロテクターでエッジ部を保護してください。

11

バッテリーのマイナス端子を接続する

イグニションスイッチをONにし、エアバッグ警告灯が消灯し、シートベルトのリマインダーが正常に作動することを確認してください。